

【研修用課題・学習指導案作成例】

〇〇年度高等学校初任者研修 英語科（ 月 日）資料

受講番号	●●●●●●●●	教科別番号	EG●●
------	----------	-------	------

「〇〇（科目名）」学習指導案

愛知県立〇〇高等学校
教諭 〇〇〇

1 日時・実施場所

年 月 日（ ） 第 限（ : ~ : ）

〇〇教室

＜注意＞ センターの研修では記入しません。

2 学級

科 第 学年 組（男子 名，女子 名，計 名）

3 学級観

学級の特徴とともに、指導により目指す生徒像、期待される変容、目標達成に向けた見通しを記述します。

4 教材

(1) 教科書（教科書名）（出版社名）

単元名 Lesson

（該当箇所 例：Part pp. ~ ）

(2) 副教材（教材名）（出版社名）

5 単元の目標

「年間学習指導計画」と連動させます。

世界の挨拶について説明した文章を読み、その概要を理解するとともに、読み取った内容について、自分の考えを簡潔に表現することができる。

6 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準の設定）

「年間学習指導計画」と連動させます。

単元の目標が達成されているかを評価する「規準」を設定します。（評価「基準」との違いに注意！！）
「5 単元の目標」で記述した内容がどの観点に対応するかを整理し、「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」についてはCAN-DOの形式（「～することができる／できている」）で記述します。
数値を盛り込むなど、より具体的に設定するように工夫します。

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	①ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	①簡単なメモを基に、聞き手に伝わるように話すことができる。 ②挨拶について、自分の感想や意見を100語程度で述べるることができる。	①世界の挨拶について説明した文章を読み、大意を把握することができる。	①動名詞や助動詞の基本的な使い方を理解している。 ②読んだ内容について、簡単な感想を述べるための表現を理解している。
内容の まとめ	①話すこと	①話すこと ②書くこと	①読むこと	①書くこと ②話すこと
評価方法	①活動の観察	①活動の観察，ワークシート ②エッセイライティング	①ワークシート	①定期考査 ②活動の観察

7 単元の指導計画

指導内容	配当時間
教科書中の写真や地図、オーラル・イントロダクション等を利用して、単元の内容について背景知識を高めるとともに、本文全体を速読したりCDを聞いたりして概要を捉える。	1時間
世界の挨拶について説明した文章を読み、大意を把握するとともに口頭で要約し、感想や意見を伝え合う。	3時間 (本時2時間目)
挨拶について、自分の感想や意見を100語程度で述べる。	1時間

単元の評価規準を達成するための、その授業における目標を設定します。
1時間に盛り込みすぎず、年間を通してバランスよく設定するようにします。

8 本時の目標

- (1) ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、自分の考えなどを主体的に話す。
- (2) 挨拶について、自分の考えを2～3文程度の英語で相手に伝える。
- (3) 挨拶の効用やその理由などを捉えることを通じ、本文の概要や要点を理解する。
- (4) 読んだ内容について、賛否や簡単な感想を述べるための表現の使い方を理解する。

本時の目標に基づいて観点別の評価規準を設定します。記入方法は、「6 単元の評価規準」に準じます。

9 本時の評価規準

評価の観点	1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
評価規準	①ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、自分の考えなどを主体的に話している。	①挨拶について、読んだ内容や自分の感想、意見を2～3文程度の英語で相手に伝えることができる。	①挨拶の効用やその理由などを捉えることを通じ、本文の概要や要点を理解することができる。	①読んだ内容について賛否や簡単な感想を述べるための表現の使い方を理解している。
内容のまとめ	①話すこと	①話すこと	①読むこと	①話すこと
評価方法	①活動の観察	①活動の観察、ワークシート	①ワークシート	①活動の観察、筆記テスト（後日）

10 本時の展開（「主な評価の観点」の（ ）内の数字は、「9. 本時の評価規準」における四つの「評価の観点」を示す）

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	○Small Talk 一週末の予定（ペア・ワーク）ー	・週末の予定をペアで1分間伝え合う。 ・代表生徒がクラス全体に発表する。	・「会話を続けるための表現集」を使って、会話が続くよう促し、必要に応じて支援する。 ・数名の生徒を指名し、クラス全体で共有する。	・聞いたことについて簡単な言葉で反応したり、間違っていることを恐れず話したりしているか。（1）	活動の観察
3分	1. 音読① (文字と音を一致させる。)	・文字（綴り）を見て発音できるように音読する。	・発音の難しい語句は繰り返し発音するなど、文字（綴り）を見て発音できるように指導する。	・積極的に声を出して音読しているか。（1）	活動の観察
8分	2. 内容把握 (Q&A)	・教師の質問に英語で答えながら、本文の内容を理解する。	・必要に応じて写真や地図を用いて、内容を理解させる。	教師の質問に適切に答えているか。（3）	ワークシート

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	3. 単語, 連語等の意味と発音の確認	・内容を理解する上で大切な単語, 連語等の意味を理解し, 発音できるようにする。	・生徒とインタラク션을行いながら進める。		
5分	4. 動名詞, 助動詞の用法の理解	・動名詞, 助動詞の基本的な使い方を理解する。	・使う場面を示し, 英語で表現させながら使い方を理解させる。	・動名詞, 助動詞の基本的な使い方を理解しているか。(4)	筆記テスト(後日)
4分	5. 音読② Repeating Buzz reading Overlapping	・意味内容が聞き手に伝わるように音読する。	・意味内容が相手に伝わるよう, 強調すべき語(句)や話す速度・声の大きさなどに注意するよう指導する。	・意味内容が聞き手に伝わるよう音読しているか。(2)	活動の観察
5分	6. 要約	・本文の内容を簡単にメモし, そのメモを基に本文を要約して相手に伝える。 ・要約をワークシートに記入する。	・メモは日本語でもよいこととする。 ・パートを半分に分け, ペアで行う。	・メモを基にして積極的に相手に伝えようとしているか。(1)	活動の観察
10分	7. ディスカッション	・読んだ内容について, グループで感想や意見を伝え合う。 ・4人1グループになり, 司会の生徒が, 他の生徒の考えを要約しながら話し合いを進める。また, グループや役割を変えて, 複数回行う。 ・自分の考えを話す際は, 本単元で学習した以下の文法事項や表現などを積極的に活用する。	・自分の考えとその理由を伝えられるよう指導する。 ・「会話を続けるための表現集」を使って, 活発に話し合うように促す。 ・相手に自分の考えが伝わるよう, 話す速度や声の大きさなどに注意を促す。 ・本単元で学習した文法事項やイディオムなどの用法を, 適宜例示しながら指導する。	・賛否や簡単な感想を述べるための表現の使い方を理解しているか。(4)	活動の観察
4分	8. Report	・ディスカッションで出した自分の考えをクラス全体に伝える。	・数名の生徒に発表させるとともに, 出された考えについてクラス全体にフィードバックする。	自分の考えを相手に伝わるように話しているか。(2)	活動の観察 ワークシート
1分	○本時のまとめ		・肯定的なコメントを心がけ, 適切なフィードバックを与えるようにする。		

「指導過程」では, 展開の流れが分かるように簡潔に記述します。
「生徒の学習活動」では生徒の言語活動がどのように展開するのか, 具体的に記述します。
「教師の活動及び指導上の留意点」では生徒への指示や指導上の配慮事項などを記述します。
「主な評価の観点」は, 「9 本時の評価規準」の観点との対応を示します。
「評価方法」は, 後日行うインタビューテストやライティングテストなどを設定することもできます。
※全ての指導過程を評価の対象とする必要はありません。